

「雄志」62号

衆議院議員

谷田川はじめ



国民民主党千葉県第10区総支部

谷田川はじめ後援会事務所

〒287-0001 千葉県香取市佐原口 2164-2

TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991

Mail:info@hajime-yatagawa.com

HP:www.hajime.yatagawa.com

国会事務所



〒100-0014 東京都千代田区永田町2-2-1

衆議院第一議員会館 1208号室

TEL 03-3508-7292 FAX 03-3508-3502

地元に寄り添うことが 代議士の務め

台風15号・19号の襲来、そして台風21号に伴う豪雨により、私たちの郷土である千葉県に甚大な被害がもたらされました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

2～5ページに詳しく掲載しましたように、10月1日に災害対策特別委員会で、10月30日に国土交通委員会で、それぞれ質問に立つ機会を得ました。

災害特委員会では、「停電をいかに防ぐか。停電した場合は、早期に復旧すること。それが長期にわたる場合には、電源車を配備させる」と強く訴えました。特に15号台風による停電は広域において、2週間も電気のない暮らしを余儀なくされた方が大勢います。こうしたこととが、今後、できるだけ起らないよう万全の取り組みをするのが政治の責任であります。

国交委員会では、成田空港問題を中心に質問しました。平成22年に羽田空港の4本目の滑走路が供用を開始し、羽田の国際線が本格的に就航するようになりました。その1年前の平成21年に、当時の前原国交大臣に「羽田の4本目の滑走路は千葉県の絶大な協力があつたからこそできたのだから、羽田の国際線の就航にあたっては、千葉県の意向を十分尊重すべきだ」と委員会で質問したところ、前原氏はそのことを十

分理解し答弁してくれました。あれから8年が経過し、今回同じ質問を赤羽国交大臣にしたところ、残念ながら、羽田の国際線拡大は既定路線で、これから先は、千葉県に遠慮する必要はないとの認識を持つているような印象を受けました。成田市をはじめとする周辺市町が「成田から羽田へのシフト」を懸念して、度々、国交大臣に申入書を提出しています。にもかかわらず、赤羽国交大臣は、それにあまり重きを置いていないようです。

今後、成田空港の機能強化を周辺自治体の協力を頂きながら進めていくこととするなかで、羽田シフトが進むことを食い止めねばならぬと強く感じた次第です。

やはり、地元選出国會議員の大きな役割は、地元に寄り添い、地元の声を実現させることであると、改めて決意しております。

さて、臨時国会が10月4日に召集され、1ヶ月も経たない段階で、菅原一秀経産大臣と河井克行法務大臣が辞任に追い込まれました。また、大学入試への英語民間試験の導入も世論から厳しい批判を受け、大幅に延期されることになりました。今後与野党の対立が抜き差しならぬ事態になることも予想され、安倍総理が局面を開くため、衆院解散に打って出る可能性も否定できません。まさにこれから「常在戦場」を肝に銘じ、精力的に活動して参りますので、皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

令和元年 十一月

谷田川はじめ

谷田川はじめが台風災害について質問！

9月9日に、千葉県を襲つたかつてない巨大台風15号。国会ではこの災害を受けて、閉会中審査が行われることになり、衆議院災害対策特別委員会が10月1日に開催。谷田川はじめ衆議院議員も質問に立ち、政府の対応を鋭く追及しました。

【谷田川はじめ衆議院議員】

台風15号上陸時に内閣改造を行つたことで、災害への初動対応が遅れたのではないか。

自公与党の議員は今回の内閣改造は延期すべきだったと言うべきではないか。

今回の台風被災において、二週間以上停電が続き、電気がないと通常の生活ができないと実感した人がたくさんいる。今回の教訓として、停電を起こさないこと、停電が起きたときには早急に復旧すること、そして、復旧時間が長い場合には補助電源をしっかりと配備配置することが必

要である。

武田大臣は、私の地元香取市を視察し、停電が倒木によつてもたらされた現場を視察したと聞いている。倒木による停電が予想される所を前もつて、伐採できるよう、市町村がそれをするのを認めている「森林経営管理法」を弾力的に運用すべきではないか。大臣の見解を伺う。

【武田良太防災担当大臣】

視察の際には先生の御地元の皆さん方に大変お世話になり、感謝を申し上げる。生活道路沿いにあれだけの杉の木の巨木がある町を初めて見、

それによる電線そして電柱倒落等による停電ということであつた。



ち上げる。ご指摘の点も含めて、関係省庁等含めて連携を図り、検討していく。



答弁する武田防災担当大臣

【谷田川】

気象庁は国民的な信頼を得ている。今後も同様規模の大型災害が襲来する可能性を踏まえ、それらを未然に防ぐべく、地球温暖化防止策を気象庁としても積極的に発信すべきではないか。

【厚生労働省】

災害拠点病院や社会福祉施設が有する非常用自家発電設備の保有状況について、例えば病院については本年七月に調査を行い公表するなど、必要な対応を取っていく。

非常用自家発電設備を設置するに際し、災害拠点病院には三分の一、社会福祉施設には二分の一、購入費用を助成する補助金制度がある。各施設がこの制度を積極的に活用し、また被災した際に迅速な被災対応が可能となるよう、非常用自家発電設備の保有状況を把握する必要があるのではないか。

【気象庁】

気象庁では、今後とも、地球温暖化対策に資する気候変動の監視、予測情報の充実強化を進めるとともに、地球温暖化により、台風あるいは豪雨災害は今後一層激甚化するというおそれがあるという点を含めて、その情報発信の強化に努めてまいりたい。



国土交通委員会で成田空港問題を中心に質問！

10月30日に、谷田川はじめが国土交通委員会で質問しました。昨今、日本を襲った巨大台風と豪雨への対応、そして成田空港問題を中心とした地元の課題を中心に、政府の対応を質しました。なお、谷田川はじめのホームページから動画を視聴することができます。どうぞご覧下さい。

《地球温暖化対策について》

【谷田川はじめ衆議院議員】

近年の災害激甚化、頻発化の背景には地球温暖化の進行があると考えられるが、気象庁を所管する大臣の見解を問う。

【赤羽一嘉国土交通大臣】

務所・自治体との連繋は機能していたか。明確な基準に従つて行動していたか。大臣の見解を伺う。

【赤羽国土交通大臣】

国交省、自治体でさまざまな混乱があつた。来るべき時に備え情報共有、発表体制を整備したいと考える。

《地域の被災・課題について》

地球温暖化による影響が大変強くて、災害激甚化と頻発化している現状を認めざるを得ない。今後、抜本的な防災・減災対策に具体的に着手をしたいと考えている。

【谷田川】

地元の銚子市で、残念ながら堤防がないところから利根川の氾濫があつた。今後、堤防のない箇所に対し、速やかに築堤を行うべきと考えるが、大臣の見解を伺う。

《災害への対応について》

【谷田川】

今回台風や豪雨に関し、気象台・河川事

【赤羽国土交通大臣】
平成25年5月に千葉県が策定した利根川河川整備計画に基づいて、千葉県と連携を取りながら御懸念がないように精一杯やっていきたい。

【谷田川】

圏央道について。未開通部分である大栄ジャンクションから松尾横芝インターチェンジの工事が遅れている。令和6年の竣工・開通予定と聞いていますが、前倒しして工事を進めることを要望する。私も一生懸命協力する。



【赤羽国土交通大臣】
圏央道の当該区間が遅れている原因は、そもそも都市計画決定が大変遅れ、平成20年4月に新規事業化されたためである。

《成田空港について》

【谷田川】

羽田空港の4本目の滑走路供用にあたつては、千葉県が次の3つの点で多大な貢献をした。①4本目の滑走路の飛行ルートはほとんど千葉県上空を飛びその騒音問題を解決した。②4本目の滑走路は海上の埋め立てなので、それに伴う漁業補償を主体的に解決した。③埋め立てに必要な土砂はすべて千葉県から搬入した。こういった経緯を踏まえ、羽田の国際線就航にあたっては、千葉県の意向を汲むべきと考えるが、大臣の見解を問う。

【赤羽国土交通大臣】

成田空港をめぐる歴史において、千葉県が貢献して頂いた経緯は承知している。成田、羽田ともに我が国を代表する国際空港として支えてまいりたい。

【谷田川】

成田空港の機能強化について。昨年3月、機能強化案が周辺9自治体に受け入れられ

た。横芝光町が最終的に、この強化案を受け入れたことは大いに評価すべきである。横芝光町中心部から空港までのアクセス道路の建設も熱望している。大臣の見解を問う。

《衆議院の解散権について》

【赤羽国土交通大臣】

周辺9市町、千葉県、成田空港会社、国で構成する四者協議会で策定する個別事業の実施プランにおいて、地元からの要望としてぜひ明記頂きたい。

【谷田川】

民主党政権の時代から、成田空港と羽田空港を50分台で結ぶ、「都心直結線」構想が検討されている。計画に進捗が見られないが、その原因は何か。

【赤羽国土交通大臣】

本事業を具体的に進める事業主体が見つからないため、具体的な事業が進捗していない。

【谷田川】

成田高速鉄道の土屋駅設置について。成田市土屋地区に新駅を作る要望が、以前より成田市から出ている。大臣の見解を問う。

【赤羽国土交通大臣】

本件について、内閣を代表して答弁する立場にはない。

地元成田市から、しっかりと要望を上げていただいたうえで、検討いたしたい。

《衆議院の解散権について》

【谷田川】

衆院の解散は、「総理の専権事項」であるとの直接な表現は、憲法にも法律にも存在しない。強いて言うなら「内閣の専権事項」である。閣議は全会一致なので、公明党の赤羽大臣が反対すれば衆院解散の閣議決定はできない。

安倍総理がどうしても解散したければ、赤羽大臣を罷免するしかない。それをすると自公連立政権が崩壊することになる。

今後、「総理の専権事項」という言葉は使わないほうが良いと思うがどうか。



答弁する赤羽国土交通大臣



出前国民民主党を実施！

各地域の要望を実現するため、開催している『出前国民民主党』。今年も8月26日と9月6日、小西洋之参議院議員とともに、各自治体を回り要望を伺いました。

その要望を踏まえ9月20日、各省庁への働きかけも速やかに実施いたしました。

各自治体の要望実現に向け、一生懸命努力して参ります。



銚子市（洋上風力発電など）



旭市（銚子連絡道路整備など）



匝瑳市（医師派遣の充実など）



成田市（成田空港の機能強化についてなど）



横芝光町（成田空港周辺の環境整備など）



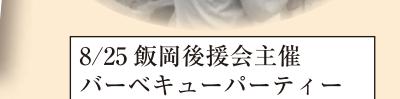
要望を踏まえ、小西参議院議員とともに各省庁にヒアリング



香取市（地域調整手当の件など）



はじめの活動写真



ポスター掲示 ご協力のお願い



○後援会ニュース「雄志」 定期購読会員募集

谷田川はじめと支援者を結ぶ機関紙「雄志」を年4回発行しています。あなたのご意見を反映します。

年会費一日2,000円(何日でも可)

郵便振替口座 00110-9-390288 「谷田川元後援会」

【谷田川はじめの略歴】

1963年1月17日香取市生まれ

- ・千葉県立佐原高校卒業
 - ・早稲田大学政治経済学部卒業
 - ・千葉県議会議員4期連続当選
 - ・衆議院議員2期当選・松下政経塾出身

冠婚葬祭等の情報がありましたら、
谷田川事務所までご連絡下さい。

メッセージの手配をさせて頂くとともに、日程調整が
つけば、谷田川はじめが顔を出させて頂きます。

国会見学のお知らせ

谷田川はじめ事務所では、隨時国会見学を受け付けております。事務所スタッフがご案内致します。お子様からご年配者まで大歓迎！詳しくは国会事務所までご連絡下さい。



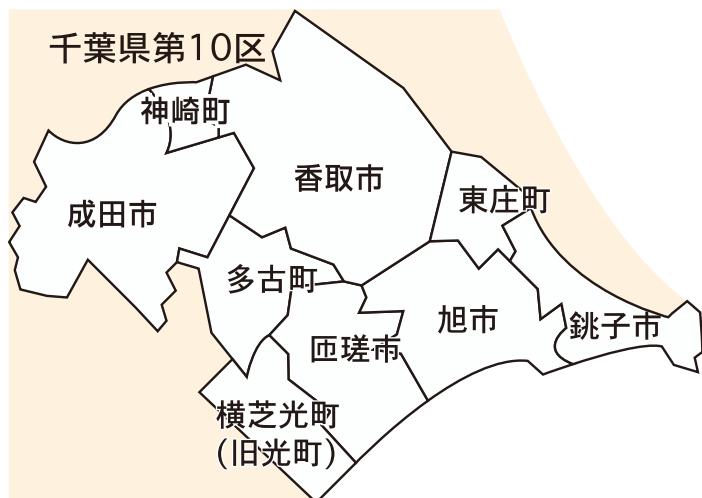
〈問合せ先〉

国会事務所

電話 03-3508-7292

担当：森

千葉県第10区在住のお知り合いの方を是非ご紹介下さい。



ご連絡お待ちしています

TEL 0478-54-5678

FAX 0478-52-6991